



スカウト 浄土



The Scout Jōdo

スカウトはみな兄弟である

浄土宗スカウト連合協議会

理事長 岡本圭示

2007年の夏、私はイギリスで世界スカウト運動創始100周年記念の第21回世界スカウトジャンボリーを視察してきました。

ロンドンから北東に約50キロにあるチェルムスフォードのハイランズパークという非常に大きな公園で、世界中から155か国、4万人のスカウトが集まりました。日本からは、1、510名が参加しました。この

ジャンボリーのテーマ「One World One Promise (ひとつの世界 ひとつのちかい)」の通り、会場内は国際親善一色で、年齢や国籍、言葉、信仰の違いも何一つ障害になることがなく、スカウトたちは声を掛けあってネットカチーフにサインをしたり、ワッペンの交換をしたりしていました。また色々なアトラクションやゲームや種々のコンクールに参加し、楽しんで

る姿はスカウト運動が歩んできた長い歴史の中で培ってきたもの、そして創始者ベーデン・パウエル の唱えた理念を強く感じ、大会テ

ーマを象徴したもので、非常に感動し、スカウトはみな兄弟であることを実感しました。

この世界ジャンボリーは4年に一度どこかの国で開催されるのですが、今回は2011年にスウェーデンで行われることが決まっております、その次の第23回の2015年にはぜひ日本で開催して欲しいと日本連盟は開催招致国として立候補しています。

本年2008年の日本連盟の全国的な行事の一つとして第10回日本アグナリーが兵庫県神戸市において7月31日から8月4日にかけて開催されます。このアグナリーというのは障害のあるスカウトを中心とした大会であると同時に、そのサポートにあたる健常スカウトのための大会でもあります。ここにもスカウトはみな兄弟であり、互いに助け合い励まし合う精神が養われます。

このように、国内外のスカウト活動を通じて、広くわが国の青少年の育成に貢献する機会となりますよう、多くの皆さまのスカウト運動へのご参加ご支援をお願いしたいと思います。



特別寄稿

宗祖法然上人800年大遠忌

法然共生

浄土宗総長公室長

浄土宗スカウト連合協議会前常任理事



光成範道

患者の自覚を
家庭にみ仏の光を
社会に慈しみを
世界に共生を

には、確固たる宗教・信仰の基盤があります。「スカウティングは、宗教を基盤としての人格作りである」と明確に述べられております。今日の社会状況の中、青少年の関わる悲惨な事件があまりにも多いと思います。事件に関係する子どもたちに何が欠落しているのではないのでしょうか？

スカウティングとは、個々のスカウトが自分の能力を認識し、正しい信仰を持ち、平和な社会を築くために汗を流し、共生の社会を歩むことではないのでしょうか。まさに浄土宗21世紀劈頭宣言の世界だと思いません。

浄土宗スカウト連合協議会におかれましても、「法然共生」を浄土宗のメッセージとして受け取っていただいて、これからのスカウト活動のシンボルとして浸透していただきたいと思います。

「法然共生」の根拠は「願共諸衆生往生安楽国」であります。もう一つスカウト的に表すならば「自他法界同利益 共生極楽成仏道」かなと思います。

ひとたびスカウトに
ちかいをたててなりし身を
……
死してのちもスカウトだ

のメッセージを発信しました。そして昨年この21世紀劈頭宣言をシンボル化して「法然共生」というメッセージシンボルを制定しました。これは「法然上人の共生社会」を要約したものです。浄土宗では宗祖八百年大遠忌に向けてメッセージシンボルの「法然共生」を社会に浸透させ、21世紀劈頭宣言を具現化し、大遠忌事業の円満を計つていこうと思っております。

スカウト運動の創始者、ベーデン・パウエル卿の思想の根底

それはスカウティングでいわれる「問題解決能力」の開発ではないでしょうか。これは子どもたちだけでなく、大人社会への重要な課題であろうと思えます。そこで大きな力となり、最善の方法論であろうと思うのが、「スカウト教育プログラム」を基本とすることです。班制度のなかで培う先輩・後輩の人間関係と友情、子どもたちのリーダーシップを支える大人の指導者、そして学び合う精神を成長させるパトロールシステム、子どもたちの問題解決の能力を開発、成長させるバッジシステムなど、今日失ってしまった社会の力、我々が持っていた人間の素晴らしい能力を開発する教育方法がここにあると思えます。

これからもスカウト活動が浄土宗教化事業推進の大きな力を担っていただきたいと存じます。

浄土宗スカウト連合協議会の皆さん、ご健勝にてスカウト活動に励んでいらっしゃる事と存じます。ご苦労さまです。この度、巖谷事務局長のご下命で「スカウト浄土」に寄稿することになり、昔のことを懐かしく思い出しながらこの文章を書いております。

2011年(平成23年)に浄土宗宗祖法然上人八百年大遠忌をお迎えいたします。それに先立ち、2001年には浄土宗21世紀劈頭宣言として

第五十回 浄土宗スカウト仏教章研修会

浄土宗スカウト連合協議会事務局

研修隊副長 脇川公暢

平成19年3月27日(火)から29日(木)にかけて滋賀県草津市西方寺に於いて開催された浄土宗スカウト仏教章研修会に、全国各地から仏教章取得を志す、ボーイ・ベンチャースカウト34名が集まりました。会処寺院の西方寺はボーイスカウト滋賀県連盟草津1団の活動拠点であり、西方寺の先代故牧達雄上人は浄土宗内の役職を歴任され、浄土宗スカウト連合協議会発足に大変貢献され、理事長もされており、スカウト活動のよき理解者として当会の発展に大変ご尽力いただいた方でした。

本研修の内容は、事前研修で各地の教導職の方たちから学んだ事を実践しながら、「釈尊伝とその教え」は西方寺住職であり当会理事、牧達玄先生がスカウトたちにポイントを押さえて、かつ楽しい講義をしていただ



き、「宗祖の伝記とその教え」は東海林良昌先生がスカウトたちにわかりやすく講義していただきました。また勤行では岡本圭示先生が中心となり、研修スタッフとともに勤めや別時念仏も実践しました。

普段の生活において、ほとんど仏教に接点がないスカウトたちだが、お釈迦様、浄土宗の宗祖である法然上人を知ること、浄土宗の日常勤行を行うことは、家庭や学校では学ぶことができない貴重な体験だったと思います。

2日目の夜には帰敬式という、もつとも大切な儀式を迎えます。帰敬式は本堂にて暗闇の中、唯一の灯りである一本のローソクに照らし出された阿弥陀様の前で厳粛に行われました。途中、スカウトたちが帰敬式を受ける際に渡されたローソクが、阿弥陀様からいただいた灯火で輝きました。そして阿弥陀様の前で、仏の子どもとしてこれから生まれ変わりますとスカウト一同誓ってくれました。



3日目には、牧達雄上人の三回忌

帰敬式を終えたスカウトの一人は「帰敬式の時の阿弥陀様は顔がとても優しく見え、これから仏の子としてがんばろうと思った」と素直な感想を伝えてくれました。参加したスカウトたちは、帰敬式を通して信仰の第一歩を踏み出したのではないのでしょうか。



この研修会はスカウトたちにとって、2泊3日という短い期間でありましたが、自分を見つめる機会であったと思います。スカウトが研修会の感想文に、「信仰心と感謝の心を持ち、阿弥陀様、団の先輩、仲間、地域の方々、他団の方々、たくさん力を借りているというのを常に考えられるようがんばりたい」「奉仕をするときも全ての事に感謝して行えるようになる」「法然上人の教えを意識し、周りの人と助け合って明るく、正しく、仲良くしていきたいと思う」と、ここでは紹介しきれないくらいたくさん感想が寄せられました。これからも仏教章研修会を通してこのような気持ちを持ってもらえるスカウトが一人でも多くなることを期待しています。

を大変お喜びになっっているに違いありません。

栄誉を讃えましょう

浄土宗仏教章授与スカウト(平成19年3月~平成20年1月)

浄土宗承認	氏名	団		寺院名	教導職	浄土宗承認	氏名	団		寺院名	教導職
H19.3.14	徳富 薫	水 俣	1	西 生 院	濱田 智海	H19.10.15	岩口 雄太	台 東	1	察 順 院	木村 良成
H19.3.14	下川 隼人	水 俣	1	西 生 院	濱田 智海	H19.10.15	林 健人	飯 田	1	柏 心 寺	安静 俊祐
H19.4.3	尾崎 太郎	坂 出	4	法 然 寺	細井 俊道	H19.10.16	上田 仁彦	名古屋	39	建 中 寺	村上 真瑞
H19.4.21	深田 睦	草 津	1	西 方 寺	牧 達玄	H19.10.25	梅山 俊則	横 浜	8	寶 秀 寺	森 泰彦
H19.4.21	古屋 信登	甲 府	4	瑞 泉 寺	糸原 勇慈	H19.12.3	橋本 郁	尼 崎	5	西 運 寺	田野島孝道
H19.4.26	岩田 将基	八王子	7	察 順 院	木村 良成	H19.12.3	加勢 恵嗣	尼 崎	20	西 運 寺	田野島孝道
H19.5.1	樋口 将平	岸和田	5	浄 福 寺	舘 照道	H19.12.3	平井 直	尼 崎	20	西 運 寺	田野島孝道
H19.5.1	花田 英之	岸和田	5	浄 福 寺	舘 照道	H19.12.3	赤阪 達也	尼 崎	2	西 運 寺	田野島孝道
H19.5.1	義本 亮輔	岸和田	5	浄 福 寺	舘 照道	H19.12.3	井上 貴文	尼 崎	2	西 運 寺	田野島孝道
H19.7.5	橋本 悠	敦 賀	3	専 安 寺	吉水 正善	H19.12.3	中西 正登	尼 崎	2	西 運 寺	田野島孝道
H19.7.5	松崎 友	敦 賀	3	専 安 寺	吉水 正善	H19.12.3	鎌谷 友衣	尼 崎	20	西 運 寺	田野島孝道
H19.9.27	谷口 智洋	千 葉	25	大 巖 寺	長谷川匡俊	H19.12.3	池田 未来	尼 崎	1	西 運 寺	田野島孝道

第三十四回 浄土宗スカウト指導者研修会

浄土宗スカウト連合協議会

事務局長 巖谷 勝正

今年度の指導者研修会は、当
会理事で熊本教区西生院住職濱
田智海上人（水俣1団）に担当
をお引き受けいただきました。

10月13日から14日と開催日が
十夜月の土日ということ、参
加者が少なく残念でしたが、研
修内容は大変充実したものと
なり、これをほかの方にお伝え
できなかったのが大変悔やまれる
研修会となりました。その研修
会的一端をご紹介します。

「宗教とボーイスカウト」



講師にボー
イスカウト熊
本県連盟理事
長・天草市浄
土真宗本願寺
派正泉寺住職
の平野升香上

人に「宗教とボーイスカウト」
というテーマで講演していただ

きました。師は鎮西高校を卒業
され、龍谷大学に進学されまし
た。そこで下宿されたお寺でボ
ーイスカウトをなさっていたの
がこの運動に参加したご縁とな
ったそうです。そのお寺の住職
さまから、天草に帰ったらボー
イスカウトをやって、念仏を弘
めなさいとおっしゃられたのが
とても印象に残ったそうです。

そして伝えるためには念仏を指
導者自身が知らなければスカウ
トには弘まらないということ
詳しく教えていただきました。

「コマと紙トンボと 紙飛行機で遊ぶ」



肥後ちゃん
かけゴマ保存
会の名人・桃
太郎こと坂下
一郎氏に、コ
マなどの遊び

を教えていただきました。
氏はまさに遊びの達人です。
3時頃から日が落ちるまで、と
にかくしゃべりっぱなし、遊び
っぱなしの時間を過ごしました。



遊びを通じて、考える力・生
きる力を伝えるのだということ
を教わりました。全部を教える
のではなく、考えて遊ぶことを
教えているそうです。

初心者でも回せるコマからベ
ーゴマまで、いろいろなコマの
回し方、遊び方を教わりました。

最後にちゃんかけゴマも教わり
ましたが、すでに日が暮れうま
く回せないまま、時間切れとな
りました。それでも何人かはす
ぐに回すコツをつかんだよう
です。ちゃんかけゴマとは宙を駆
けるコマが詰まってちゃんかけ
になったとのこと。途中、
簡単に紙でトンボを作ったり飛
行機を作ったりする方法も教わ

「水俣市立水俣病資料館 語り部を聞く」



翌日の午前
中は、これ
もしっかりと
子どもたちに
伝えたい公害
病の原点であ
る水俣病のお
話を語り部の方から聞きました。

お話ししていただいた語り部
の方は、ご主人が水俣病の被害
者をまとめる活動をされた方
で、加害者である会社や行政と
の窓口となつて、交渉をした方
だそうです。

加害者となった会社はこの水
俣では、大変大きな影響力があ
り、被害者でもその会社の関係
で働いていた方も多く、被害者
をまとめるのも容易なことでは
なかったようです。解決まで長
い間のご苦労、原因を明確にし
た努力など、本当に今だから話
せるといふ内容だったと思いま
すが、伝えていただき、問題解
決の難しさを改めて知りました。

浄土宗スカウト報告

● 仏教スカウト研修会報告

第17回仏教ガールスカウト・第5回仏教スカウト指導者研修会が平成20年1月26～27日、東京都杉並区の立正佼成会第二団参会館を会場に開催されました。

今回のテーマは「大志」、サブテーマとして「信仰心をもってスカウトにふれよう」が掲げられました。

基調講演は、独立行政法人国立青少年教育振興機構理事長の松下俱子氏から「スカウト運動の役割」のお話しをうかがいました。また新たに制定された信仰奨励章について研修し、最後は、和田中学校校長の藤原和博先生から「『よのなか科』の実践から見えてきた教育の未来」のお話しをうかがいました。

浄土宗関係者は6人参加いたしました。

● 法然上人800年大遠忌 青少年教化事業検討委員会発足

大遠忌に向けての事業の一環として、青少年教化事業の検討委員会が発足しました。浄土宗

保育協会、浄土宗児童教化連盟、全国浄土宗青年会とともに当会から1名委員を選出することとなり、牧達玄理事が就任しました。

11月16日に第1回委員会が開催され、委員長にこのたび社会国際局長に就任された田中信道師、副委員長に山本典雄浄土宗児童教化連盟事務局長が就任し、今後の事業計画について話し合われました。

● 仏教章研修会事前研修のお礼

最近では、ホームページや広報の効果が見れ、スカウトやベンチャー隊の隊長から事前研修寺院の紹介を求められることが多くなりました。

その都度、菩提寺を確認し、菩提寺での研修が困難な場合には、地域のご寺院様を紹介することになります。今年度も多くのご寺院にご依頼をさせていただき、快くスカウトの事前研修をお引き受けいただきました。紙面をお借りしてお礼申し上げます。

今後とも依頼がありましたときにはぜひご協力をお願いいたします。

今年度 主な行事予定

■ 総会開催のお知らせ

平成20年度年次総会を左記のとおり開催いたします。会員の皆様にはぜひ総会にお集まりいただき情報交換いたしたくお繰り合わせの上ご出席をお願いします。

日時：平成20年5月30日(金)

午後2時～4時

場所：宗務庁東京第1会議室

■ 平成20年度指導者研修会

平成20年度は当会理事で大山清浄華院の執事長にご就任になられました吉川文雄師にご担当いただく予定です。大本山の諸施設をお借りしての開催を検討しておりますのでどうぞ奮ってご参加ください。

■ 第52回仏教章研修会

第52回仏教章研修会は、本堂の新築なった長野教区伊那組柏心寺にて左記日程で開催の予定です。定員は40名ですが、多くのスカウトを送り込んでいただくようお願いいたします。

日程：平成21年3月27日(金)

～29日(日)

地元開催を要望される方は必

ず総会にご出席をお願いいたします。

平成19年度広報掲載報告

◆ 浄土宗新聞

- ・ 5月号 (仏教章研修会報告)
- ・ 12月号 (指導者研修会報告)

◆ 宗報

- ・ 6月号 (仏教章研修会報告・総会報告・理事会報告)
- ・ 9月号 (指導者研修会開催のお知らせ)
- ・ 12月号 (指導者研修会開催報告、仏教章研修会開催案内、仏教章事前研修のお願い)

◆ メールニュース

- ・ No.11から15まで配信
- ※メールニュースの配信および会員向けメールリングリストに登録希望の方は、事務局へご連絡ください。

スカウト 浄土

(第二十七号)

■ 発行 / 平成二十年三月二十日
東京都港区芝公園四一七一四
浄土宗宗務庁社会国際局内
浄土宗スカウト連合協議会

■ URL: <http://scout.jodo.or.jp>

■ e-mail: scout-info@jodo.or.jp

■ 編集者 / 巖谷 勝正

■ 印刷 / 小竹印刷株式会社